令和3年度自己評価結果

1. 幼稚園の教育目標

・情操を豊かにし、優しい心を育てます。

・健康で元気な、心の安定した子どもらしい子どもに育てます。

・友達との集団生活に素直に入ってゆける基礎をつくります。

・自分で考え、判断し、行動することが出来るようにします。

・正しいことばを使い、ありがとうの言える子どもに育てます。

1. 重点的に取り組む目標や計画

　　・安心感を持って園生活を送り、様々な経験を通して、お友達とのつながりを感じなが

　　　ら達成感や充実感を味わう。また、やり遂げることを通して自信を持つ。

　　・他者を思いやる心、良好な人間関係への基盤を作る。

1. 評価項目の達成及び取り組み状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価項目 | 取り組み状況 |
| （1）保育の計画性 | ・今年度も新型コロナの影響があり、例年通りの保育とはいかなかったが、その状況の中で何が出来るか何を大切にしていくかを考え保育計画を考えた。  ・園内研修を行う中で自分の保育を振り返り、職員同士で話し合うことで保育への学びが増え日々の保育に活かせている。  ・子どもが今何に興味や関心を持っているのかをしっかりと観察する目を持ち、それを積極的に保育に取り入れ子ども主体の保育に繋げていかれるようにしていく。  ・子ども達が自分たちの力で、より主体的に活動できるよう環境を整えていく。 |
| （2）保育の在り方・幼児への対応 | ・否定的な言葉を使わず、子どもが前向きになれるような言葉掛けをしたり、子ども一人ひとりの思いを大切に寄り添いながら対応することを心掛けている。  ・行動を急かせる言葉掛けをしてしまうことに対して、集団を意識しながらも一人ひとりを理解し、保育者の方で余裕のある時間作りをしたり、子どもが自ら見通しを持って意欲的に行動できるように工夫していく。 |
| （3）地域の自然や社会とのかかわり | ・コロナの影響により小学生との交流の場を設けることは出来なかったが、今年度は園近くの地域の方に直接お会いしてお話を聞かせて頂く機会を設けることが出来た。状況により外部の方との関わりが難しい部分もまだあるが、出会った方に明るく気持ちよく挨拶をしたりという基本的なことは引き続き大切にしていきたい。  ・地域に出かけることをもう少し増やし、自分達の住んでいる所をもっと知ることが出来るようにしていく。 |

1. 総合的な評価結果・次年度への取り組み

・今年度もコロナの影響を受けながらの保育となってしまい、今までのように保育が出来ないところもあったが、その状況の中で出来ることを考え、新たな試みも少しずつではあるが取り入れることができた。しかし、出来ることの範囲がやはり限られてしまったところはあるので引き続き、職員間で何でも相談し、協力し合える環境を大切にしながら保育に取り組み、見直しもしていきたい。

・コロナによりなかなか思うように保育が出来ない中、人と人とのつながり・心のつながりの大切さや、何気ない日々のありがたさを改めて感じた一年となった。今後もしばらくは制限される部分もあるかと思うが、その中でも子ども達が楽しく生き生きと過ごせるよう毎日を大切に過ごしていきたい。

・少人数だからこそ出来ることを大切に、みんな仲良く明るく元気に園生活を送れるように努力していく。